別紙1

平成２６年度学校運営計画書

学校名　東山東小学校　　校長名　　青　木　茂　生　　作成日　平成２６年5月9日

学校教育目標
　　生きる力をはぐくみ、心身ともに健やかで、明日の社会を築く豊かな創造性と実践力を持つ子どもの育成

育てたい子ども像
　　実行する子ども

心の豊かな子ども

考える子ども

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
本年度の重点目標	出会い・ふれあいから学ぶ 〇小規模校で過ごす子どもたちが広い視野を持ってものごとを考えられるようにするために、多くの人との出会いを通して学ぶ機会をより多く設定する。	やさしい心・たくましい心 〇道徳・体験活動・教科等あらゆる教育活動の場で豊かな心や考え方を育てるとともに、心身のたくましさや思いやりの心、粘り強さを身につけさせる。	考える子ども 〇読み・書き・計算等の基礎的・基本的な学力を充実させるとともに、言語活動の充実を図る。
目標達成に向けた具体的方策	・ホームページや学校だより等で広く教育活動の様子を伝え、学校の現状についての理解や協力、支援をいただけるようにする。 ・地域に根ざした学習をおこない、各種団体や多くの地域の皆さんとの交流を深める。 　また、地域の人材を発掘・活用するように努める。 ・四季の郷公園や山東まちづくり会など地域の活動に積極的に参加し、交流を深める。 ・全学年で外国人の方に授業に入っていただき、国際理解教育や外国語活動の実践・研究を進めていく。 ・学校評議員さんや学校関係者評価委員さんに授業参観をしていただいて、ご意見を頂戴し、学校運営に活かす。	・学習の成果を集会発表したり学級や委員会での行事や活動を実施したりして、活動を通して喜びや成就感をもたせ、自己肯定感を育てるようにする。 ・遠足や運動会で異学年の縦割り活動を実施することにより、リーダーシップや他者を思いやる心を育てる。 ・JRC 活動に、積極的に参加し、博愛や奉仕の精神を育むようにする。 ・全校でチャレンジランキングなどの取り組みに参加して、体力づくりをおこなうと共に、たくましさや粘り強さを育てる。 ・学年遊びや交流学年遊びなどをおこない、体力づくりの機会にすると共に、協力や思いやりの心を大切にする子どもを育成する。 ・「わたしたちの道徳」を計画的に活用して、児童の情操を豊かにする。	・授業の内容を工夫し、よりわかりやすい授業実践を行うとともに、「紀州っこ学びノート」を活用し、確かな学力の育成をはかる。 ・「うちどく」の取組（子ども司書）を積極的に行い、子どもの「ことばの力」を育む。 ・読書を通じて、いろいろな人々の生き方や、ものの見方考え方、感じ方に触れさせる。 ・子どもの発言や話し合いで深める授業を多く取り入れ、言語能力の育成をはかる。 ・外国語活動や国際理解教育の実践を通じて、コミュニケーション力を育てる。 ・出前教室などを活用して外部講師を招き、多様な児童の学びの場を設定しながら、地域を越えた方々とも交流を持つ。